

花きの県別生産出荷概況(3月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		3月のピーク(%)			主産地	
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本					
ストック	福島	施設	ホワイトアイアン アサミ ユキナミ ホワイトカルテット	10～3月	5	70	50	40%	40%	20%		
				(11月)	(100%)	(88%)	(90%)					
	千葉	施設		11～4月	39.3	0.98	2000	40	40	20		館山市(神戸、西岬)、 南房総市(白浜の長 尾、千倉、丸山、和 田)、鴨川市
				(2～3月)	100%	100%	100%					
千葉	施設		11～3月	2	11	11	60	30	10	夷隅全域		
			(12～1月)	100%	70%	70%						
バラ	茨城	施設	アパラン チェ、サムラ イほか	周年	8	400	300	30	35	35	古河市、石岡 市他	
				()	()	()	()					
	群馬	施設 (周年)	アヴァラン チェ サムライ08 ほか	周年	12.8	722.9	553	30	35	35	前橋市 富岡市	
				(5～11 月)	(100)	(115)	(120)					
山梨	周年 冬期休 眠	ローテロー ザ、サムライ 等	周年	3	200	190	30	35	35	笛吹市 御坂町		
			()	(100%)	(100%)	(100%)						
トルコギキョウ	福岡	3-5月		4-5月	380a	300	110	20	30	50	直鞍 みい たがわ 糸島	
				()	(%)	100%	100%					
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	21.4	353	194	0	0	0	熊本市 菊池 やつしろ くま など	
				11～5月	102%	105%	105%					
宮崎	施設	ポヤージュ コサージュ プロポーズ	12月～7月 (宮崎)	3.2	162	2	30	40	30	宮崎中央		
			8月～11月 (椎葉)	(80%)	(81%)	(81%)						
沖縄	施設	レイナホワイト ボレロホワイト エンゲージブルーピコティ グラナスライトP	12月～5月	9	680	450	20	40	40	糸満市 八重瀬町 沖縄市 東村		
			(4月)	180%	180%	180%						

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	福島	終盤に近付き日量は徐々に減少。圃場状態が良くなく、すでに切り上げた生産者がいるため3月の出荷量は例年よりも少ない見込み。	<p>現状</p> <p>上旬より千葉産中心にSP・ST共に出荷量大きく増加し、厳しい相場展開となる。露地ストックも和歌山より例年と比べて遅いが、中下旬にかけては増加傾向。下旬より入荷も落ち着き相場も回復。</p>
	千葉	①2月中旬からの高温で生育は前進傾向。出荷量は、一部が2月に出荷されたが、3月全体としては平年並。 ②施設は西岬がアイアン系、その他はカルテット系が中心。露地は彼岸王とファミリーシリーズ。	<p>見通し</p> <p>大田花き 昨年と比べやや前進する生産者も一部千葉であり。露地ストックは昨年並みかやや減。SP・STは例年並みの出荷となる。</p> <p>FAJ 前半落ち着くも、仏花需要で15日くらいより動きが出始める見込み。</p> <p>東日本板橋花き</p>
		①平年よりも2週間程度生育が前進しており、3月出荷予定分が2月から出荷される。前進した分3月の出荷量を減少する見込み。分枝数やボリューム等品質は良好である。 ②カルテットシリーズが中心。 ③1月31日に今シーズン3回目の出荷検査会を開催し、出荷規格の確認を行った。	<p>世田谷花き 千葉などからの例年並み入荷。彼岸王は一週間近く開花早そう。</p> <p>第一花き</p>
茨城	・全体的には品質に問題はない。	<p>現状</p> <p>夏場の高温のダメージを引きずっており、例年に比べ出荷量が非常に少なく推移した。赤バラの価格は堅調だが、SPバラ全体に価格は安値で推移。</p>	
バラ	群馬	天候が安定し日照も徐々に強くなっているため、平年どおり収量・品質ともに向上してくる。また、一部産地では環境制御技術の導入と理解がすすみ、炭酸ガスを効率的に施用できているため、平年よりも採花本数やボリュームの向上が見られる。	<p>見通し</p> <p>大田花き 3月中旬以降、引き合いが強まり、入荷量も増加してくる。輸入品は為替の影響で全体的な入荷量は多くない。</p>
	山梨	生育は順調で昨年と同じ。	<p>FAJ 需要期に入り動きさらに活発に。各産地も出荷本格化し数量まとまってくる見込み。</p> <p>東日本板橋花き 卒業、歓送迎需要により下旬に向けて引き合いが強まる。入荷は各産地3月に向けて生育良く横ばい～増加傾向の見込み。</p> <p>世田谷花き 年度末に向け期待。入荷も増える見込み。</p>
	第一花き		
トルコギキョウ	福岡	現状、生育は概ね良好で昨年よりも早い出荷スタートとなっている産地もあり、3月上旬には概ね各産地出揃う見込み。出荷期間通じての作付面積は昨年よりも10%程度減少となっており、出荷量も昨年よりは少なくなる見込み。3月以降、	<p>現状</p> <p>静岡、熊本、福岡と上旬はあるが中旬以降は入荷落ち着く。台湾産は旧正月に少し減るがその後は安定的に入荷ある。</p>
	熊本	3月出荷については産地によっては前進化している影響で昨年よりもやや数量多い見込み。ピークは3月下旬ごろを見込む。また、4月以降については4月中旬ごろが数量少なくなるものの、母の日ごろは潤沢な数量を見込む。品質については、気温が高くなってくので前処理、輸送剤の徹底を呼びかけている。	<p>見通し</p> <p>大田花き やや遅れている静岡、熊本、福岡と春出しも始まり入荷は増える。台湾産も上旬に入荷ピークを迎え、下旬頃に終わる。</p> <p>FAJ 引き続き熊本・栃木などより入荷。需要期に入り活発な取引に。</p>
	宮崎	気温の影響もあり、前進傾向となっている。秀品率も上がってきており、安定した出荷が見込まれる。中旬がピークとなる見込み。	<p>東日本板橋花き 3月は前進傾向の為、下旬位から入荷が少なくなってくる。</p> <p>世田谷花き 沖縄産の流通量が多くなる。早生系中心の品種構成になる。</p>
	沖縄	当初の計画より2週間程度前進開花の傾向だが、生育、花ボリュームとも良好で秀品が中心の出荷が見込まれる。	<p>第一花き</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
フリージア	茨城	・出荷量は前年並みかやや減少する見込み。	<div data-bbox="804 286 903 327" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 茨城産、埼玉産の数量増加し安定した入荷。上旬は小売りも動き鈍く、アラジンは低相場。少量の白や紫、八重咲きなどは動き良い状況。下旬に向け、桃の節句に向けて量販店など問い合わせ多くなり、相場は底上げしていった。
			<div data-bbox="804 376 903 416" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 茨城・埼玉と陽気良く、やや前進気味の出荷見込みとなり、上・中旬がピークの見込み。山形産は、3月通して安定した出荷となり、アラジン・白が中心。静岡は、上旬にラインベルトが出荷ピークとなる。 FAJ 繁忙期に入り需要も本格化に。黄色中心に安定した販売が続く見込み。 東日本板橋花き 世田谷花き 山形からの入荷も始まり、潤沢。選択肢多い。 第一花き